

## 道徳の時間で活用する ～公正、公平、社会正義～

下関市立木屋川中学校 曲 真理子

### 1 本場面におけるポイント

- 1時間を通して活用する読み物として「私たちの道徳」を生かし、ねらいとする道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深める。
- 発問を学年部で検討して板書型指導案を作成し、授業に臨んでいる。結果として、学年部が同歩調で道徳の授業を行っている。本実践は、副担任がT1として担任がT2として授業を行った。

### 2 授業の実際

- 1 主題名 いじめを許さぬ心「卒業文集最後の二行」(私たちの道徳 P231～235)
- 2 ねらい いじめの愚かさを知り、差別、偏見を憎み、不正な言動を断固として許さない道徳的態度を育成する。
- 3 展開
  - (1) 導入

教師：卒業文集を書いたことがありますか？私は、小学校の時の卒業文集を探して見てみたら…まず、字が汚くて読めない。  
生徒：なんて書いてあったのですか？  
教師：内容も…パイロットになりたいと。今日は卒業文集最後の二行というものをやります。あなたの身近にいじめはありますか。(私たちの道徳 P230 の範読。P231 最初の 3 行の範読。) T 子さんがいじめられる。イチノへ君はいじめた方。(板書)

#### □ 指導上の留意点・支援

道徳の時間に資料を読み解く時間をとらずに、主発問のみで考えさせるため、資料の導入には、資料のあらすじを解説する。

#### (2) 展開

教師：では、CDを聞いてください。(資料範読。「私たちの道徳」P231～P235)  
イチノへ君は234ページにあるようにある程度正義感のある子、でもいじめてしまう。そして最後の二行を読んだときに正義感が戻ってくる。今日は「現在の私はどうなっていたら」と推測したことについてその思いを感じてみる。」です。

では、個人で考えてください。時間は5分です。  
教師：班になって意見をまとめてください。時間は10分間です。

※話し合い活動(生徒の中から「(問いの)意味が分からない」とのつぶやきがあったのでT2が説明に行く。)

教師：それでは、班の発表を行います。

1班：いじめられる人の心がわからないまま、他の人をいじめていたかもしれない。過去のいやなことを忘れ、過去を許してしまう。

教師：(「いじめていたかもしれない」「過去のいやな事を忘れ、過去を許してしまう」にアンダーライン)

2班：最後の二行を読んで自分がしたことの重大さを感じることができた。

教師：(「重大さを感じることができた」にアンダーライン)

3班：また、他の人をいじめていたかもしれない。逆にいじめられたかもしれない。謝罪しようと思わなかったのかもしれない。

教師：(「逆にいじめられたかもしれない」にアンダーライン)

4班：また、同じことをしてしまって、他の人も傷つけてしまう。

教師：(「ほかの人も傷つけてしまう」にアンダーライン)

5班：T子さんのことを忘れていた。罪悪感もなく、人をいじめることが当たり前になっていた。

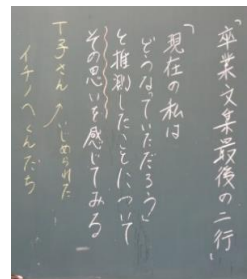
教師：(「T子さんのことを忘れていた」「罪悪感もなく」「当たり前になっていた」にアンダーライン)  
ここがすごく大切な。筆者は(T子さんのことを)思い出すことで正義感が戻ってきている。この卒業文集最後の二行は筆者に大切なことを思い出させてくれたのですね。

#### (教師の説話)

実は、6年前、私たちは、中学校の時の同窓会をしました。  
●●中学校の3年7組です。30年ぶりの同窓会です。各クラスから二人ずつ幹事が出て●●で同窓会をしました。私は幹事でした。当時の卒業アルバムで同級生の住所を探しました。そうやって、同窓会の案内を出したら、戻ってきた手紙がありました。では、読みます。



私たちの道徳 P230



(手紙範読)

〇〇さん、お久しぶりです。年月は本当に早いもので、30年ぶりですね。お元気ですか。同窓会の案内が届きました。実家の母から、〇〇さんという方から同窓会の案内状を送りたいから住所を聞かれたので教えたよ、と聞いており、同窓会のことは知っていました。

幹事御苦労様です。皆さんの住所を調べたり、お世話をしたりするのはかなり大変でしょうね。

さて、同窓会ですが、同封のハガキとおおり欠席いたします。〇〇さんは御存じでないかもしれませんが、私は中学校の時ずっといじめられていました。参加しても何も話ができません。同窓会の案内がきたことで忘れていたことをまた思い出してしまいました。私の記憶からは消したい中学校生活です。同窓会、皆さんは楽しみにしているのかもしれませんが…ごめんなさい。でもそのことを恨んではいません。

同封されていた名簿から、中学校の先生をしていると知り、びっくりしました。どこでも走り回っていた〇〇さんが先生とは、たしか掃除中に天井から落ちていましたよね。あれはみんな驚き、笑いました。

一つお願いがあります。私のような思いをする子どもたちをつくらぬようお願いします。同窓会を楽しみにできて、思い出と一緒に語ることができる子どもたちを育ててください。

30年ぶりでこんなお願いをしてすみません。

長くなりましたが、もう私には同窓会の案内を送らないでください。あのころの記憶はやっぱり消したいので。

それでは、幹事ががんばってくださいね。

お会いすることはないと思いますが、お互い良い人生を送ることができるよう心からそう願っています。

私たちは同窓会を楽しみにしていました。同級生のみんなが楽しみにしていると思って疑わなかった。まさか、同窓会に対してこういう思いを抱いている友達がいるってことをこれっぽっちも思っみてみなかったのです。私はこの手紙を今までに100回以上読みました。この友達は、「中学校の時のことは消したい。」と書きながら、思い出を書いています。本当は、同窓会に来たかったのかな、どうなのかなと思いましたが、連絡はしていません。私はこの友達がいじめられていたことを全く知らなかった。気が付きませんでした。本当に、申し訳ないと思いました。

□ 指導上の留意点・支援

個人で考えをまとめるためワークシートを用意し、生徒に自分の考えを書かせる。全員が書いたことを確認して班をつくる。班で話し合うときはワークシートを伏せて、自分の考えを自分の言葉で発表させる。司会者には全員が発表できるように時間調整をさせる。ホワイトボードにまとまったら、ワークシートに班の意見を記入させる。その後、考えを深めるために、教師の説話を工夫する。

(3) 終末

教師：みんな30年後に同窓会をします。S君はどうなっているかな。

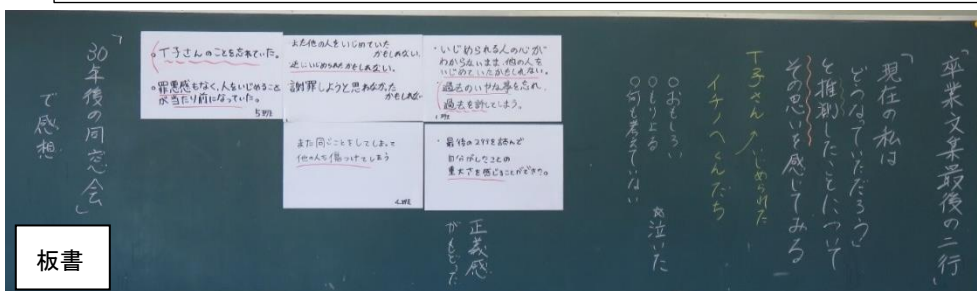
では、今日の授業の感想を「30年後の同窓会」という題で、この時間に考えたこと、感じたことを書いてください。

教師：では、今日の授業の感想を紹介します。残りは掲示で読んでください。

私はすごく楽しみにしていると思います。30年も経ってみんなの姿が見てみたいと思う気持ちと、また、笑いあいたいという気持ちがあるからだと思います。もちろん、みんなも私と同じように楽しみにしていると思います。もしかしたら、用事が出て出られない人や、遅れてくる人もいると思います。その時、「あいつらしいよね～」とか話しながら、笑って語り合いたいと思います。こうやって先のことを考えるのはすごく楽しいです。

もし、30年後の同窓会があったら、きっととても楽しいだろうなと私は思います。みんなとは時々意見が合わなかったりする時もあったりするけど、楽しい思い出もたくさんあるから、その時、一緒に語ることができるように、この半年を毎日大切に過ごしたいと思います。一人でつらい思いをしている人がいれば、みんなで協力して、そんな思いをしている人がいない明るくて楽しい、消したくないと思えるような生活にしていきたいと思います。

教師：みんな楽しみにしていますね。先生も参加したいな。では終わります。



□ 指導上の留意点・支援

終末には、生徒の感想を紹介する。また生徒の書いた感想には授業者が朱書きでコメントし、ポートフォリオで掲示する。生徒同士で感想を共有させる。

3 実践を振り返って(成果と課題)

主として、読み物資料として、「私たちの道徳」を活用したが、P236～237の『卒業文集最後の二行』を読んで感じたこと、考えたことも併用すると生徒の考えを深めるのに有効だと考える。

今後も、生徒にわかりやすい発問を追究し、道徳の授業の時間の質が高まるように研修を進めていきたい。